

～みんなが暮らしやすい地域やまちづくりを目指して～

陸前高田市未来図会議だより

NO.3

2018/11/15
(木)



陸高★なでしこ会 発行

みんなが暮らしやすい地域やまちづくりを目指し、今日よりも素敵な明日が有ることを信じて生き抜くために！！

陸前高田市未来図会議 No.88 リポート



2018/10/19(金)13:30～、陸前高田市コミュニティホールの大会議室を会場に、今年度2回目の「陸前高田市未来図会議」が12団体28名の参加で開催されました。

今回のテーマは「移動(外出)が人を元気にする」。陸前高田まちづくり協働センターの黄川田美和氏から、どこの地域へ出向いても「行きたい場所に行き、人に会って、話ができない」という声が多く、今回の会議を通して、市全体で課題解決に向け考えていることを各地域へ返したいと、このテーマを設定したというお話から始まりました。

今回の発表のタイトルと発表者は以下の通りです！

No	標 題	発 表 者
1	市内の移動を支えるための施策について	陸前高田市 企画部まちづくり戦略室 室長補佐 佐藤 勝也 氏
2	矢の浦地区の移動図書館の活用について	陸前高田市小友町 村上 峯子 氏

★発表内容の紹介

佐藤氏の発表

現在の市内の公共交通網

- 1、BRT 大船渡線
- 2、路線バス ①陸前高田住田線 ②細浦経由高田線
- 3、乗り合いタクシー (バスの代わりにタクシー車両を使用する路線)
- 4、デマンド交通 (自宅からバス停までのラスト1マイルの解消を目指して)

ラスト1マイル
解決のために！！

- ☆デマンド交通 (・自宅から目的地まで運ぶ『ドアツードア』が特徴の事前登録、事前予約制
・気仙町エリア&小友・広田町エリアでタクシー車両で実施)
- ☆ふるさとタクシー助成 (・障害のある方への運賃一部助成を拡大し、75歳以上の免許返納者へ1枚500円の助成券を月6枚、障害のある方へは4～6枚を交付)
- ☆支え合い交通 (・H27年度の矢作町で「生出みんなのバス」の実証実験
・北上市の NPO 法人、石巻市の日本カーシェアリング協会の取り組み)



○持続可能な移動手段問題の解決には、公の力だけではなく、民の力も大事！！

公民館での『いきいき百歳体操』の集まりを力に、移動図書館のお世話活動！

佐々木、金野両氏に見守られて話す村上氏



◎村上氏のお話

- ・運転免許返納等で図書館まで行く手段がないことから、週1回の体操の時に合わせて移動図書館に来てもらっている。自他ともに外出への意欲の喚起ともなる。
- ・移動図書館の利用登録のお誘いと利用の仕方の助言 (絵や写真を眺めるだけでも良いですよ！)
- ・老若男女、近隣地区の方々にも利用してほしいと思っている。利用によるはまかだへの参加も期待！

ワールドカフェ形式のグループワークの話題紹介 ～話し合いの内容を抄録～

テーマ1、移動について、いま思う事

- ◎高台移転で町中まで出るのが大変、返納後が心配
- ◎地域性なのか乗せると金品のお礼をされる
- ◎復興途上で常に道路が変わり、歩行者も自転車も心配
- ◎デマンドはまだ不便なこと多い
- ◎高齢者、難病罹患者、障害者も移動に不便を感じている
- ◎身近なはまかだから始まる外出
- ◎BRT にまだ乗ったことがない
- ◎便乗を頼むのはお礼等考えなければと思うし、乗せても事故が心配

テーマ2、人を元気にする移動とは～上手いこと使う、工夫する～

- ◎バス停の変更情報の周知と共有に問題
- ◎都市間を結ぶ急行バスも欲しいけれど、(土日以外ガラ空き問題)
- ◎イベント毎に自宅から送迎のシャトルバスがあると楽しみが増加！
- ◎ヒッチハイクカードの制度を作っては？
- ◎スクールバスへの住民の混乗 (一緒に利用することで、相互の交流にもなる)
- ◎既存の交通機関を利用してのバスツアーの企画
- ◎乗せれますステッカーと乗せれますレーン有の駐車場作る

☆集まりたいと思うような事と集まれる場所があったら、人は進んで出かけるのではないかと言う意見に、一同、なるほどと うなずきました！！

本日の講師：陸前高田市
ノーマライゼーション大使

岩室紳也先生

★未来図会議、次回は2018/12/14(金)
13:30～15:30
陸前高田市コミュニティホール大会議室
テーマ 『食から考えるはまかだ』

★岩室先生にはグループワークの中で、考えるポイントとも言うべき事をたくさんご教示戴きました。

★要求から自立へ！！

⇒未来図会議でアイディアを出し合いましょう！

☆介護予防の制度の基準を変えては？

○○に行く活動なら助成します・・・等

★ヒッチハイク制度を行政と協働できる？

行政が移動で困っている人にカードを発行し
市民同士で活用する！！

★ボランティア保険(送迎)を利用するのも有り？

既存の仕組みを活用することも大事！！

☆自立のための協働を！！

浦安市では5百万円を限度に事業経費を市民に支給

★BRT 試乗会と介護予防事業のドッキングも視野に